



## 子どもたちや教職員を 不審者から守るために

### 四條畷遊技業組合 (大阪府遊技業協同組合)

「学童・園児に対する不審者侵入の  
被害防止活動」事業



四條畷遊技業組合  
組合長  
西山 哲雄さん

### 地域の子どもや学校を 地域自身で守る

2001年6月に大阪府池田市の大阪教育大附属池田小で発生した学童殺傷事件、さらに、2005年2月に大阪府寝屋川市の寝屋川中央小で発生した教職員殺傷事件などをきっかけに、各地の小学校などで不審者の侵入による事件を防止するための対策が講じられるようになった。しかし、依然として、侵入した不審者が校内で児童や教職員に危害を加える事件や、登下校中の児童などが事故やいたづらに巻き込まれたり、殺傷されたりするという事件が後を絶たない。

こうした事態を受け、2012年には文部科学省では「学校安全の推進に関する計画」を策定し、警察庁などや関係省庁と連携を図りながら、学校安全に関するさまざまな施策を推進している。一方、国や自治体に頼るだけでなく、地域の学校や子どもたちを地域の人たちの手で守る姿勢も大切である。

大阪府遊技業協同組合の支部組合のひとつ、四條畷遊技業組合では、2012年から四條畷市と大東市内の小学校、幼稚園の学童および園児、さらには教職員が不審な侵入者によって犯罪被害に遭うことを防止する目的で支援事業に取り組んでいる。事業の契機となったのは、近隣市町での類似事件発生を受け、同年6月ごろに四條畷市教育委員会、大東市教育委員会との懇談会の席上で、学童や教職員に対する犯罪被害防止活動の必要性が話題となったことだった。



ネットランチャーによる防犯訓練を実施



小学校で実施したネットランチャーを使った防犯教室



防犯用のカラーボールを使った防犯教室



四條畷市長から贈られた感謝状

### 防犯機器の寄贈や 防犯教室を継続実施

事業に先立ち、四條畷遊技業組合では組合会議に諮り、組合員総意として事件被害防止のための支援活動に取り組むことを決定した。2012年10月に同組合から、四條畷市と大東市内の小学校・幼稚園、計22校園に対してネットランチャーが各2台寄贈された。ネットランチャーは簡単な操作で瞬時にネットが飛び出し、不審者に絡まることでその動きを抑制でき、その間に避難時間を確保することができるという防犯機器である。

この事業は現在も継続中で、2015年度も四條畷市立小学校7校、同幼稚園1園、大東市立小学校12校、同幼稚園2園にネットランチャーのほか、特殊染料が入った防犯用のカラーボールを寄贈した。また、四條畷市の小学校に対しては、次年度入学予定者のために防犯ブザーも贈った。

この寄贈と併せ、同組合では所轄の四條畷警察署の協力のもと、児童や教職員を対象に、ネットランチャーやカラーボールを使った防犯教室や不審者侵入を想定した避難訓練なども実施している。事業開始からの4年間で、同組合は総額336万円を拠出している。

こうした活動は、四條畷市や大東市の広報紙やホームページなどで毎年、紹介されていることもあり、市民の認知度も高い。また、教育関係者が集まる学校安全協議会などの各種会合でも取り上げられ、その事業内容は高く評価されている。また、四條畷市、大東市の両市長からは事業開始以来、毎年、感謝状が贈られている。

どんなに警戒や注意をしても、こうした事件が皆無になるということはないだろう。しかし、たとえ発生した場合でも被害を最小限に食い止めるためには、やはり日ごろから、地域をあげて防犯意識を高める必要がある。防犯意識向上のためにも、四條畷遊技業組合の取り組みは意義のあることだと言える。